

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

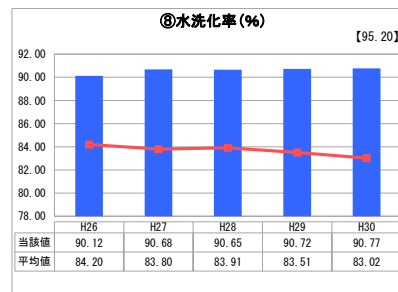
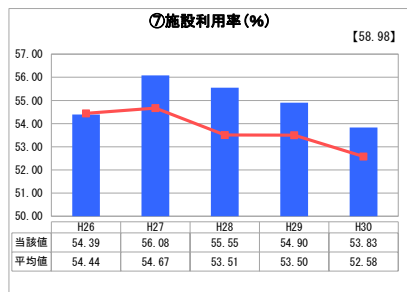
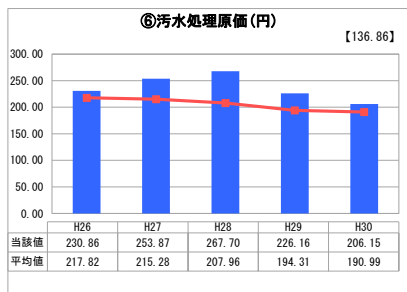
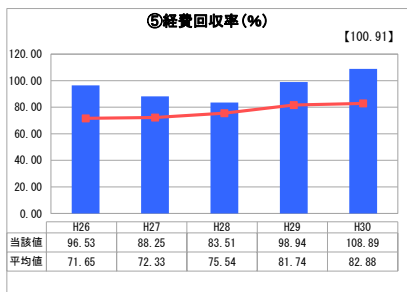
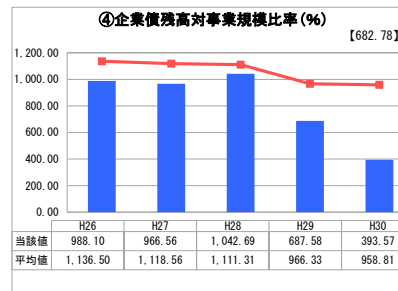
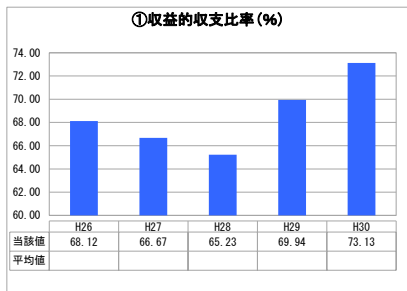
北海道 余市町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	81.24	71.53	4,300

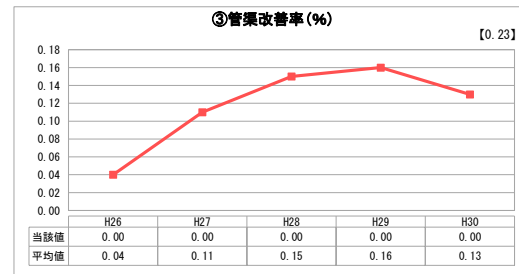
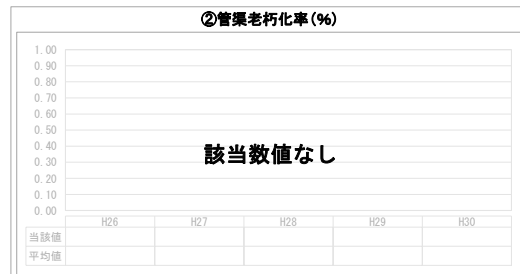
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,894	140.59	134.39
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,171	5.50	2,758.36

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本町における経営の健全性と効率性については類似団体の平均程度に位置しているものの人口減少に伴い、処理区域内人口密度が減少傾向にあることから、将来における料金収入の減少が懸念されます。企業債の元金償還金と減価償却費との間に構造的に生じた資金不足が発生しています。

また、施設利用率は53.83%であり、施設利用率の改善をおこなう必要があります。

今後、広域化・共同化事業など新規事業の検討のため、一部事務組合や関係町村と協議を行っています。

### 2. 老朽化の状況について

本町の下水道施設は供用開始後29年が経過し、管渠、設備・機器ともに老朽化がすすんでいます。そのため、改築・修繕の管理計画(ストックマネジメント計画)に基づき施設の更新工事を行っています。

## 全体総括

今後、人口減少を踏まえた汚水処理施設による整備区域の見直しをおこない、投資の効率化と維持管理費の削減を図りながら持続可能な財政運営に努めます。また、企業債の償還にあたり、減価償却費との間に生じた資金不足については、資本費平準化債の活用により、世代間による負担の公平性を確保します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。